

市民の大学 I

(共催：飯能市教育委員会)

18歳を考える

2015年に公職選挙法が改正され、2016年の参議院選挙から選挙権年齢が18歳に引き下げられることになりました。これに伴い、成人年齢も18歳にすべきか、少年法の適用年齢や飲酒・喫煙年齢も見直すべきかなどの議論が行われています。本年度は、人権と未成年者、市民生活と年齢制限、18歳選挙権の影響、少年法適用年齢の引き下げによってもたらされるものなど、18歳という年齢の評価とその法的な扱いをめぐる議論について考えます。

日程 4/30～5/21(土曜・全4回)

時間 14:00～15:50

定員 なし

費用 資料代1,000円(全4回分)
受講初回にお支払いください。

締切 4/25(月) 申込方法は8ページをご覧ください。

4/30 _土	人権と未成年者	講師からの一言	きたはら ひとし 北原 仁	駿河台大学法学部教授
			長年憲法を研究してきたが、憲法を取り巻く社会的・政治的環境は、以前とは大きく変わってしまっている。憲法研究者にも、憲法を学問的に見直すよう迫られているような思いがしている。	

近代憲法は、一部の成人男子の権力の参加と行使のルールをきめ、その権利を保障した法律文書ともいえる。子供(未成年者)が憲法の条文に現れるのは最近のことである。近年のラテン・アメリカ諸国の憲法には、この問題について詳細な規定をおいているものがある。そこで、日本国憲法の規定をこうした国々の憲法と比較しつつ、考察してみたい。

5/7 _土	市民生活と成年	講師からの一言	おおぬま よういち 大沼 洋一	駿河台大学法学部教授
			検事、裁判官を経て、現在は、東京の南青山で弁護士をしながら、駿河台大学で大学教授をしております。	

成年が20歳をいうというのは私たちの市民生活において常識となっているようです。しかし、諸外国をみると必ずしもそうではありません。日本においても、20歳以外の年齢を成年としている場合がかなりあります。この問題をどのように考えるべきか、市民生活に及ぼす影響はどうかにつき、分かりやすいお話をしたいと思います。

5/14 _土	18歳選挙権は政治を変えるか	講師からの一言	なりた のりひこ 成田 憲彦	駿河台大学法学部教授
			長年永田町で暮らし、総理大臣秘書官を務めた後、大学人になりました。政治のインサイダーと学術的研究者の二つの顔をもつことをウリにしています。	

選挙権年齢が引き下げられるのは、戦後に25歳から現在の20歳に引き下げられて以来のことです。若者の政治離れが指摘される今日、果たして新しい有権者の誕生は、政治を変えることになるのかを様々な角度から考えます。

5/21 _土	少年法適用年齢の18歳への引き下げは何をもたらすか	講師からの一言	よねやま てつお 米山 哲夫	駿河台大学法学部教授
			大学創立以来のメンバーで、主に刑事法関連科目を担当しています。専門である刑事政策の役割は、「公権力を監視する」ことだと悟りました。	

明治以降の少年犯罪者への対応と、健全育成を理念とする現行少年法の改正作業の歴史を振り返り、20歳前後の若者に関する精神医学的知見も参考にして、少年法適用年齢の18歳未満への引き下げ論の危うさを解説します。

市民の大学Ⅱ

(共催：飯能市教育委員会)

飯能で子育てを

2014年に日本創生会議が提言した「消滅可能性都市」は世間に大きな衝撃を与え「地方創生」が強く叫ばれるようになりました。本学が所在する飯能市でも「子どもの夢・未来をつなぎ市民の豊かな生涯を支援するまち」をめざし、子育てに対する支援を手厚く行っています。今回は子育てを支援する現場に関わる方を講師にお招きし、現状や今後の展望をお話しいたします。

日程 6/4～6/25(土曜・全4回)

時間 14:00～15:50

定員 なし

費用 資料代1,000円(全4回分)
受講初回にお支払いください。

締切 5/30(月) 申込方法は8ページをご覧ください。

6/4土	子育てしやすい 飯能市	講師からの一言	あらい ゆうこ 新井 裕子	飯能市子育て総合センター主幹
			飯能市で初めての子育て支援センター「どんぐりルーム」の専任保育士として、子育て支援に取り組んできました。現在「楽しい子育て」の普及に取り組んでいます。	

【飯能で子育てを】「女性と子どもにやさしいまち 飯能市」で行われている、きめの細かい子育て支援事業について、現場の目線からお話します。

6/11土	子どもの輝きを見つめる幸せ	講師からの一言	いのうえ ともこ 井上 知子	飯能市立美杉台保育所上席所長
			元気と楽しさをモットーに保育士を続け、子どもたちから沢山の愛情を頂き幸せいっぱいです。	

保育士としての私たちの願いは「家族や地域や子どもに関わる方々のさまざまな愛情に包まれて子どもたちに健やかに成長してほしい」です。保育所の生活で日々感じる温かなつながりをご紹介します色々な形の子育てをお伝えしたいと思います。

6/18土	知って納得、子どもの 発育と発達	講師からの一言	ひらぬま ちえみ 平沼 千恵美	飯能市保健センター保健師
			健康があってこそ幸せがあります。少しでも皆様が幸せに生活できるよう支援していきたいと思ひます。	

最近の子育て事情は、核家族化により孤立しながら子育てしているのが現状です。地域の方々が、子育てしているお母さんやお父さんへの温かいまなざしで声かけしていただけると幸いです。そんな時に参考になる情報をお伝えしたいと思います。

6/25土	思春期の子ども 上手な見守り方	講師からの一言	やまくち ひろのぶ 山口 博伸	駿河台大学理事
			41年間に亘り、ひたすら生徒とその親たちの様々な相談に応じて、励ましたり励まされたりの人生でした。その経験を少しでもお役立て出来たら幸いです。	

近年の急速な社会環境の変化によって、実は一番影響を受けているのは思春期の子供たちです。いわゆる“子育て支援”は、思春期の子どもを抱えている親へのケアを含めていく事が大切な時代になっています。そうしたことを一緒に考えてみたいと思ひます。